

第 69 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 材料分科会 議事録

1. 日 時: 2013 年 11 月 13 日 (水) 13 時 30 分～17 時 35 分

2. 場 所: 日本機械学会 第 2 会議室

3. 出席者: 木村 (NIMS)、伊藤 (IHI)、井手 (東電)、俣野 (KHI)、齊藤 (中電)、根岸 (関電)、野口 (新日鐵住金)

欠席者: 戸田 (NIMS)

代理者: 齋藤[清水 (MHI)]、

オブザーバ: 菊原 (バブ日立)、藤田 (MHI)

事務局: 海野

4. 配付資料

69-1 . 第 68 回材料分科会議事録 (案)

69-2 . 材料分科会委員名簿

69-3 . 第 65 回火力専門委員会議事録

69-4 . 第 20 回材料専門委員会議事録

69-5 . 第 66 回規格委員会議事録

69-6 . 火力専門委員会書面投票結果

69-7 . 火 STBA24J1 系鋼と火 SCPH91 系鋼の見直し結果

69-8 . 審議レビュー票

5. 議 事

(1) 前回議事録確認

[資料 69-1]

前回議事録 (案) について確認を行なった結果、出席委員全員の賛成で議事録案は承認された。

(2) 分科会委員の確認

[資料 69-2]

新任候補として菊原氏が推薦され、次回火力専門委員会で推薦することが出席委員全員の賛成により承認された。また、田村委員の退任が報告された。再任委員は対象なしであることが報告された。

(3) 火力専門委員会・材料専門委員会・規格委員会他報告

(3-1) 火力専門委員会

[資料 69-3]

第 65 回火力専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認
- ・ 第 68 回材料分科会報告
- ・ 火力専門委員長改選手続きについて
- ・ 発電用設備規格委員会倫理規定案の書面投票入り審議について

- ・ 委員会資料の取り扱い内規案の書面投票入り審議について

(3-2) 材料専門委員会報告

[資料 69-4]

第 20 回材料専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ Tracking List による審議未了案件 (5 件) の確認について
- ・ 発電用設備規格委員会補足倫理規定の書面投票について書面投票開始が承認された
- ・ 委員会資料取扱内規の書面投票について書面投票開始が承認された
- ・ 書面投票にて二つの分科会設置が承認された
 - ・ 材料規格統合化分科会
各規格での材料に関する規格を独自に制定しているものを統合化をはかる目的で設置
 - ・ 新材料規格化分科会
他の委員会から新材料の規格化を要望された際に許容応力表等を検討する目的で設置
- ・ 二つの分科会設置に関する今後のスケジュールについて審議された
- ・ 先進超々臨界圧火力発電技術開発 (A-USC) について高効率発電システム研究所の福田氏より新材料を JSME 規格に規格化申請したいとの話があった
- ・ 発電用設備規格関連の材料事象の解説について書面投票時の意見対応の審議が行われた

(3-3) 規格委員会報告

[資料 69-5]

第 66 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 公衆審査のWEB化について
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3-4) 火力専門委員会書面投票結果報告

[資料 69-6]

火力専門委員会にて書面投票を行った3件について結果を報告した。

◎ 書面投票番号: No. 61

投票議案名: 「日本機械学会 発電用設備規格委員会 補足倫理規定案」の承認

書面投票期間: 2013年9月12日～2013年10月15日

投票結果: 可決

投票成立: 委員総数の5分の4以上 (20 票) の 23 票の投票があり, 投票成立

投票採決: 投票数の3分の2以上 (16 票) の 22 票の賛成票があり, 意見付反対票がなかったため, 投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中 賛成 22 名

反対 0 名
保留 1 名
不投票 1 名

◎ 書面投票番号: No. 62

投票議案名: 「規格委員会等での資料の取扱い内規の提案」の承認

書面投票期間: 2013年9月12日～2013年10月15日

投票結果: 可決

投票成立: 委員総数の5分の4以上 (20 票) の 23 票の投票があり, 投票成立

投票採決: 投票数の3分の2以上 (16 票) の 23 票の賛成票があり, 意見付反対票がなかったため, 投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中	賛成 23 名
	反対 0 名
	保留 0 名
	不投票 1 名

◎ 書面投票番号: No. 63

投票議案名: 次期火力専門委員会委員長の選任

書面投票期間: 2013年10月4日～2013年10月18日

投票結果: 可決

投票成立: 委員総数の5分の4以上 (20 票) の 23 票の投票があり, 投票成立

投票採決: 投票委員の過半数以上 (12 票以上) である 22 票の投票を得た小溝裕一候補が選任された。

<投票内訳>

委員 24 名中	
小溝 裕一 候補	: 22 票
飯田 英男 候補	: 1 票
不投票	: 1 票

(4) 審議事項

(4-1) 火 STPA24J1 系鋼と火 SCPH91 鋼の見直し結果

[資料 69-7]

三菱重工業の齋藤氏 (清水委員代理) より電事連の高クロム鋼対策連絡会にて承認された火 STPA24J1 系鋼 (Grade23), 火 SCPH91 鋼 (Grade91 系铸鋼) のクリープ破断強度見直し結果について報告がされた。本内容については今後 RHC 委員会でも審議がなされる予定。JSME 規格についてもこの結果を反映することで進めることとなった。また, 本見直し結果の技術的妥当性の検討を, 材料専門委員会に審議依頼することについて火力専門委員会に諮ることとした。

(4-2) レビュー票審議

[資料 69-8]

(4-2-1) 本文

俣野委員よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ 改訂原稿案の見直し結果を確認した。
- ・ 修正箇所は参照規格の年版見直し。
- ・ ASME Code Case は Supplement No11 までを対象とする。

(4-2-2) 許容応力表 II -1-1 (JIS 材, 火技解釈参照材 鉄鋼材料)

伊藤副主査よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ P 番号 4 の最低温度は, JIS B8267 (2008) では JIS B8266 (2003) をもとに ASME2004 の改定を反映して 650°C となっている。火技解釈では ASME2004 の改定が反映されておらず、2001 準拠のため 595°C のままで差異がある。最低温度は 650°C で問題ないことを確認した。
- ・ P 番号 6 火 SUS410J3TB については P 番号 15E に変更することを審議決定した。
- ・ JIS B8267 の質問事項は回答待ち。

(4-2-3) 許容応力表 II -1-2 (ASME Sec II 材 鉄鋼材料)

井手幹事よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ SUS304L の上限温度を, ASME(11a)について確認した。
- ・ Gr91 系鋼の許容引張応力について再確認する。
- ・ Gr.91 の許容応力は再度見直しを行う。
- ・ 見直し内容の集計データを見直す。

(4-2-4) 許容応力表 II -1-3 (ASME Code Case 材 鉄鋼材料)

根岸委員よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ Supplement No11 までを検討対象とする。
- ・ 新規材種取り入れ可否について各委員へのアンケートにより取り込み有無を検討する。
- ・ Gr.92 の 550°C の許容引張応力値を再確認する。

(4-2-5) 許容応力表 II -1-4 (ASME B31.1 材 鉄鋼材料)

菊原氏 (バブコック日立) よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ A213-T91 (チューブ材) については追加取り入れとし、許容引張応力は日本国内の見直し内容とする。
- ・ 備考の記載について規格年版含め再確認をする。

(4-2-6) 許容応力表 II -2-2 (ASME Sec II 材 非鉄材料)

齋藤委員よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- ・ 要求事項 (H3) の最低温度は ASME (METRIC) に適用されたため換算値から ASME 記載値に変更する。
- ・ 新規材種取り入れ可否について各委員へのアンケートにより取り込み有無を検討する。

(4-2-7) 許容応力表 II-2-3 (ASME Code Case 材 非鉄材料)

根岸委員よりレビュー結果が報告され、審議を行った。

- Supplement No11 までを検討対象とする。
- 新規材種取り入れ可否について各委員へのアンケートにより取り込み有無を検討する。

材料取込に関するアンケートは事務局より議事録案と同時に送付する予定。

6. 次回開催予定

日 時: 2014 年 2 月 18 日 (火) 13:30～17:00

場 所: 日本機械学会 第2会議室

7. 添付資料

添付1: 審議履歴表

以 上